

I 障害者計画 重点事業 進捗状況（個票）

市川市障害者計画 個票の見方

計画名を記載

基本目標		施策の方向	
事業名		所管課	
事業内容	【基本目標】 計画に定める施策推進の方向	【施策の方向】 分野別の施策名	

		計画策定							
		平成28年度		平成30年度		平成31年度		令和2年度	
		現況	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
指標									
実施内容	【実施内容】 計画策定時の【現況】と【目標】と、それに対する当該年度の【実績】を記載 なお、【目標】については計画策定時に設定しているため、【予算】及び【決算】とは連動していない。				【指標】				
予算/決算									
成果	【予算/決算】 当該年度の当初予算額及び決算額を記載								
課題									
対応								【評価】 所管課によるABCD評価を記載 A 十分達成できた(75%以上) B 概ね達成できた(50%~75%未満) C やや不十分だった(25%~50%未満) D 不十分だった(25%未満)	
				評価		評価		評価	

市川市障害者計画 進捗状況

基本目標	第1節 子育て・教育の充実 ～のびのびと育つ～	施策の方向	1 子育て支援
事業名	1 保育園巡回相談事業	所管課	こども政策部 発達支援課
事業内容	民間の保育園を巡回し、障害児に対しての適切な支援について職員に対して助言を行います。		

計画策定							
	平成28年度	平成30年度		平成31年度		令和2年度	
指標		保育園巡回件数		保育園巡回件数		保育園巡回件数	
	現況	目標	実績	目標	実績	目標	実績
実施内容	32回	55回	48回	70回		75回	
			評価		評価		評価
			A				
予算/決算		75,000	74,965	151,000			
成果	心理士等の専門的な視点から、支援方法を具体的に伝えることで、保育園に在籍する発達に課題のある子どもへの支援に活かされている。						
課題	巡回相談は各園につき年1回となるため、年度内に子どもの変化や支援について確認することができていない。						
対応	こども発達相談室で支援している子どもについては、担当者と保育園の間で連携を取り、具体的な支援方法について情報共有していく。						

市川市障害者計画 進捗状況

基本目標	第1節 子育て・教育の充実 ～のびのびと育つ～	施策の方向	2 学校教育
事業名	2 特別支援教育推進事業	所管課	学校教育部 指導課
事業内容	市川市特別支援教育推進計画(第2期)に則り、全ての幼稚園・学校において、特別な教育的ニーズのある児童生徒の市川スマイルプラン(個別の教育支援計画)を作成し、関係機関との連携を図りながら、一貫した支援を目指します。		

計画策定							
	平成28年度	平成30年度		平成31年度		令和2年度	
指標		市川スマイルプランの作成率		市川スマイルプランの作成率		市川スマイルプランの作成率	
	現況	目標	実績	目標	実績	目標	実績
実施内容	1.7%	2.1%	4.5%	2.4%		2.7%	
			○特別支援学級在籍及び通級指導教室で指導を受けている児童生徒(作成義務あり) 2. 16% ○それ以外の児童生徒(作成義務なし) 2. 34%				
			評価		評価		評価
			A				
予算/決算		12,428	12,334	14,816			
成果	平成30年8月に学校教育法施行規則の一部を改正する省令が施行され、特別支援学級の在籍及び通級指導教室で指導を受けている児童生徒は、個別の教育支援計画(市川スマイルプラン)を作成することが義務化されたため作成率が上がった。通常学級に在籍している児童生徒については、作成は義務ではなく、保護者からの要望があつて作成するものとなる。市川スマイルプランの役割について周知が進んだため通常学級の児童生徒の作成率が上がってきた。						
課題	学校教職員、通常学級在籍の配慮を要する児童生徒の保護者に対するの改めの周知。						
対応	保護者に対しては、各小中学校の入学説明会等で、周知していく。学校教職員に対しては、研修会等を通して周知していく。						

市川市障害者計画 進捗状況

基本目標	第2節 社会参加・就労の促進 ～地域で活動する～	施策の方向	1 生涯学習
事業名	3 市主催講座・講演等における合理的配慮の推進	所管課	福祉部 障がい者支援課
事業内容	市が主催する講座や講演会等において、手話通訳や要約筆記、車椅子席などの合理的配慮をはかるよう、庁内に働きかけます。		

		計画策定					
		平成28年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
指標		手話通訳・要約筆記の派遣件数		手話通訳・要約筆記の派遣件数		手話通訳・要約筆記の派遣件数	
	現況	目標	実績	目標	実績	目標	実績
実施内容	8件	10件	16件	11件		12件	
			評価		評価		評価
			A				
予算/決算		251,000	158,580	225,000			
成果		新成人の集い、障害者就労面接会等へ派遣を行う。					
課題		庁内関係各課の認知度が高いとは言えない。					
対応		庁内へ情報発信をするとともに、庁内関係各課からの相談に対応していく。					

市川市障害者計画 進捗状況

基本目標	第2節 社会参加・就労の促進 ～地域で活動する～	施策の方向	2 スポーツ・レクリエーション・文化芸術活動
事業名	4 障害者スポーツ事業	所管課	文化スポーツ部 スポーツ課
事業内容	障害のある方にスポーツに親しむ機会を提供するとともに、健康・体力の保持と増進をはかります。		

計画策定

	平成28年度	平成30年度		平成31年度		令和2年度			
指標		障害者軽スポーツ教室への参加人数		障害者軽スポーツ教室への参加人数		障害者軽スポーツ教室への参加人数			
	現況	目標	実績	目標	実績	目標	実績		
実施内容	45人	100人	131人	100人		100人			
			<p>【障がい者軽スポーツ教室】 全6回開催 内容:ストレッチ・各種軽スポーツ等</p> <p>【パラレクスポートデー】 3月9日開催 内容:車いすバスケ・ボッチャ・フライングディスク・軽スポーツ等</p>					評価	評価
			A						
予算/決算		147,000	120,000	147,000		147,000			
成果	初級障害者スポーツ指導者資格を保有するスポーツ推進委員の指導のもと、全6回の教室を開催するとともに、一般社団法人千葉県障がい者スポーツ協会等とともに、「パラレクスポートデー」という障がい者スポーツの体験型イベントを開催。参加者も増加し、参加者からも良い評価をいただいた。								
課題	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者軽スポーツ教室の参加者が少ないこと。 障がい者スポーツの指導者の確保 								
対応	関係各課等と連携し、周知活動を見直し、参加者の増加に努める。また、障がい者スポーツ指導者資格を取得可能な講習会への参加をスポーツ推進委員へ促し、有資格者の増加を図る。								

市川市障害者計画 進捗状況

基本目標	第2節 社会参加・就労の促進 ～地域で活動する～	施策の方向	3 就労支援・雇用促進
事業名	5 優先調達推進事業	所管課	福祉部 障がい者支援課
事業内容	障害者優先調達法に基づき、市における障害者就労施設等からの物品等の調達に関する方針を策定し、優先的に物品や役務の調達をはかります。		

		計画策定					
		平成28年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
指標		調達件数		調達件数		調達件数	
	現況	目標	実績	目標	実績	目標	実績
実施内容	7件	10件	16件	11件		12件	
			評価		評価		評価
			A				
予算/決算		-	5,844,959	-			
成果		役務14件、物品2件の調達となった。役務についてはその大半が公園清掃となっている。					
課題		調達内容のレパートリーが少ない。また、庁内への制度の周知が充分でない。					
対応		庁内への情報発信を継続して行っていく。					

市川市障害者計画 進捗状況

基本目標	第2節 社会参加・就労の促進 ～地域で活動する～	施策の方向	3 就労支援・雇用促進
事業名	6 就労支援に関わる研修	所管課	福祉部 障がい者支援課
事業内容	自立支援協議会の就労支援部会を中心に就労支援にかかわる課題を抽出し、課題に沿った研修を実施することにより、就労支援の担い手の育成を図ります。		

計画策定								
	平成28年度	平成30年度		平成31年度		令和2年度		
指標		開催回数		開催回数		開催回数		
	現況	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
実施内容	1回	1回	1回	1回		1回		
			評価					評価
			A					
予算/決算		10,000	10,000	10,000				
成果		講演「障害者を取り巻く様々な社会課題と就労支援機関が担う事」とグループ討議を実施し、「一般就労」と「福祉的就労」の枠組みにとらわれず、支援者相互の議論する機会を設け、支援の質の向上を目指している。						
課題		研修自体は概ね好評であるが参加者が若干の減少傾向にある。周知方法や求められるニーズに対応できているかを検討していく。						
対応		引き続き議論する機会を設け、就労支援の担い手の支援の質の向上に努める。						

市川市障害者計画 進捗状況

基本目標	第3節 生活支援の充実 ～地域で暮らす～	施策の方向	1 福祉サービス
事業名	7 精神障害等に関する講演会・研修会の開催	所管課	福祉部 障がい者支援課
事業内容	理解が進まず、普及啓発が望まれる精神障害等について、講演会や研修会を企画・広報して、これを実施します。		

		計画策定							
		平成28年度		平成30年度		平成31年度		令和2年度	
指標	現況	実施回数 講演会・研修会への参加延べ人数		実施回数 講演会・研修会への参加延べ人数		実施回数 講演会・研修会への参加延べ人数		実施回数 講演会・研修会への参加延べ人数	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
実施内容	-	1回 50人	1回 67人 ※市民講座 6回 137人 ※事業所向け勉強会	2回 100人				3回 150人	
			評価		評価				評価
			A						
予算/決算		60,000	60,000	60,000					
成果		今年度より、市民講座(「成人期の発達障害とその対応」)を開催。							
課題		今年度より市民向けに講座を申込制にて開催したため、会場の都合により当日参加希望者については入場できなかった。							
対応		令和元年度は30年度の参加人数を参考に会場を検討する。							

市川市障害者計画 進捗状況

基本目標	第3節 生活支援の充実 ～地域で暮らす～	施策の方向	2 コミュニケーション・移動サービス
事業名	8 失語症会話パートナー派遣事業	所管課	福祉部 障がい者支援課
事業内容	失語症会話ボランティア養成講座を修了した失語症会話パートナーと失語症のある方々が公共施設に集まり、コミュニケーションを補いながら社会参加を促進します。また、失語症会話パートナーを高齢者施設等に派遣し、会話の場を提供します。		

計画策定							
	平成28年度	平成30年度		平成31年度		令和2年度	
指標		会話パートナー派遣人数		会話パートナー派遣人数		会話パートナー派遣人数	
	現況	目標	実績	目標	実績	目標	実績
実施内容	108人	130人	152人	130人		130人	
			評価		評価		評価
			A				
予算/決算		415,400	417,100	412,800			
成果	失語症当事者に対し、公共施設では、言語聴覚士と失語症会話パートナーによる全体・個別での会話を行い、介護老人保健施設では、失語症会話パートナーによる個別での会話を実施。失語症当事者の方に対して、会話機能の維持や向上に向けた会話の時間を設けることが出来ている。						
課題	公共施設に参加する失語症当事者の数が平成29年度の7名から平成30年度は10名に増えたため、派遣人数も増加(個別の会話時間を設けているため、当事者が増えると派遣人数も増加)。当事者の人数には変動があり、それにより派遣人数も変動する。						
対応	現在は、失語症会話パートナーは14名の登録があり、派遣に対応できている。今後当事者の人数が増えた場合は、失語症会話パートナーを追加登録していく。						

市川市障害者計画 進捗状況

基本目標	第4節 相談・権利擁護体制の確立 ～自分で決める～	施策の方向	1 相談・情報提供
事業名	9 相談支援グループスーパービジョン	所管課	福祉部 障がい者支援課
事業内容	自立支援協議会の相談支援部会を受け皿にして、指定相談支援事業所が困難や迷いを感じた事例を提出し、相互に助言を行うことで支援の質の向上をはかるとともに地域の課題を集約します。		

計画策定							
	平成28年度	平成30年度		平成31年度		令和2年度	
指標		実施回数 延べ事例提出事業所数		実施回数 延べ事例提出事業所数		実施回数 延べ事例提出事業所数	
	現況	目標	実績	目標	実績	目標	実績
実施内容	12回 26箇所	18回 36箇所	17回 31箇所	18回 36箇所		18回 36箇所	
			評価		評価		評価
			B				
予算/決算		—	—	—			
成果		H30年度から北部地区と南部地区に分け実施。市内の相談支援事業者が困難事例を提出し事例検討している。閉所した事業所等があったため参加事業所数が減り、また、2回参加した事業所もいた。地域課題を集約し、自立支援協議会、相談支援部会に報告、各部会で課題解決に向け検討している。地域課題集約に関しては、今年度からは基幹相談支援センターえくるが主体で行っている。					
課題		事例検討後の確認が行えていない。質の向上の役割はIs-netが行っている部分もあり、今後のグループスーパービジョンの役割を検討する必要がある。					
対応		グループスーパービジョンの課題を検討し、行政、基幹相談支援センターえくる、民間事業所との役割を明確にしていく。					

市川市障害者計画 進捗状況

基本目標	第4節 相談・権利擁護体制の確立 ～自分で決める～	施策の方向	2 権利擁護
事業名	10 成年後見制度利用支援事業	所管課	福祉部 障がい者支援課・介護福祉課
事業内容	知的障害や精神障害及び認知症などの理由で判断能力が十分でない人が成年後見制度を活用するためのPRや啓発活動、相談支援等の業務を市川市社会福祉協議会に委託して実施します。また、経済的理由により、支援が必要な方へは経費の助成を行います。		

		計画策定									
		平成28年度	平成30年度		平成31年度		令和2年度				
指標			相談実件数(障害分) 啓発回数		相談実件数(障害分) 啓発回数		相談実件数(障害分) 啓発回数				
	現況	目標	実績		目標	実績		目標	実績		
実施内容	30件 7回	60件 10回	36件 16回 ※ 市民向け講演会=4回 ※ 出前講座=12回 (市川社協へ委託)		60件 10回			60件 10回			
			評価			評価			評価		
			A								
予算/決算		20,556,000円(介護福祉課)	20,555,640円(介護福祉課)		21,650,000円(介護福祉課)						
成果		○障がい者支援課 パンフレットの配布による市民への理解促進及び紙芝居を作成し出前講座をするなど積極的に周知活動を実施(社協へ委託。出前講座12回のうち紙芝居活用は7回)。 相談においては精神障害の申立て支援が多く、高齢者も含め延べ件数は351件(知的16件・精神20件)となっている。 ○介護福祉課 延件数 346件(業務報告書より)									
課題		○障がい者支援課 「後見制度利用相談会」を月1回開催(社協へ委託)。引き続き周知や理解及び促進のための活動が必要。 ○介護福祉課 件数 17件(業務報告書より)									
対応		一層の後見制度の理解促進を図るとともに、相談及び申立て支援の充実。									

市川市障害者計画 進捗状況

基本目標	第5節 保健・医療・リハビリテーションの充実 ～健やかに暮らす～	施策の方向	1 健康づくり・予防
事業名	11 ゲートキーパー養成研修	所管課	保健部 保健センター 健康支援課
事業内容	専門職だけでなく民生委員などの市民を対象に、悩んでいる人に関わるあらゆる分野で、自殺につながるサインや状況を早期に発見し、適切な対応を図ることができる人材を育成するための研修会等を実施します。		

計画策定

	平成28年度	平成30年度		平成31年度		令和2年度			
指標	研修の開催回数	研修の開催回数		研修の開催回数		研修の開催回数			
	現況	目標	実績	目標	実績	目標	実績		
実施内容	2回	2回	2回	2回		2回			
			①庁内職員(生活支援課・生活サポートセンターそら)対象 テーマ「市川市職員としての現状と窓口対応の心得～悩んでいる人のサインに気づき、相談にこなげる方法」 ②市民を対象 テーマ「ゲートキーパー養成講座～悩みを持つ人の心の声に耳を傾け、寄り添う方法～」					評価	評価
			A						
予算/決算		100,000	70,000	100,000					
成果		①出席者:96人 ②出席者:57人							
課題		①について、市役所には様々な困りごとや悩みを抱える市民が来所することから、引き続き庁内職員を対象にゲートキーパー研修の実施を検討する必要がある。 ②について、初参加の方が90%を占めていたことから今後も継続して実施することで市民にゲートキーパーという意識を浸透させていく必要がある。 ③今後も養成講座を継続し、市民にゲートキーパーという意識が浸透するよう働きかけていく必要がある。							
対応		①窓口対応をする課とゲートキーパー研修について打診・打合せし実施する。 ②今年度もゲートキーパー養成講座を実施する。							

市川市障害者計画 進捗状況

基本目標	第5節 保健・医療・リハビリテーションの充実 ～健やかに暮らす～	施策の方向	2 医療・リハビリテーション
事業名	12 身体障害者地域リハビリテーション体制整備事業	所管課	福祉部 障がい者支援課
事業内容	障害のある方の身体機能及び生活機能を維持するために、理学療法士・作業療法士が、地域の通所施設等への巡回、戸別訪問などにより相談・助言を行い、地域におけるリハビリテーション体制の整備を進めます。また、本市における地域リハビリテーションのネットワークづくりを進めるために、地域生活支援に関わる関係者とリハビリテーション情報交換会を開催し、地域におけるニーズや課題について検討します。		

		計画策定										
		平成28年度		平成30年度		平成31年度		令和2年度				
指標		情報交換会の開催回数		情報交換会の開催回数		情報交換会の開催回数		情報交換会の開催回数				
	現況	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績			
実施内容	-	2回	1回	2回		2回		2回				
			市内の関係機関に呼び掛けて9月14日に1回開催。関係者各々の位置づけの共有と、制度の狭間に取り残されている人がいないか確認した。							評価	評価	評価
			B									
予算/決算		5,799	2,120	5,721								
成果		市内関係者の顔の見える関係づくりと、連携のあり方について話し合うきっかけを作ることができた。										
課題		次の情報交換会につなぐテーマ設定ができず、2回目を開催することができなかった。										
対応		職員体制の強化により、情報交換会のあり方について見直しをはかり、より効果的な課題共有や連携構築を検討していく。										

市川市障害者計画 進捗状況

基本目標	第6節 誰にとっても暮らしやすいまちづくりの推進 ～安心して暮らす～	施策の方向	1 福祉のまちづくり
事業名	13 新第1庁舎整備事業	所管課	街づくり部 新庁舎建設課
事業内容	市川市役所新第1庁舎の新築に伴い、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー新法)及び千葉県福祉のまちづくり条例に基づき、多機能トイレの設置及び点字ブロックや案内設備等の設置を行います。		

		計画策定						
		平成28年度	平成30年度		平成31年度		令和2年度	
指標		多機能トイレの設置箇所数		多機能トイレの設置箇所数		多機能トイレの設置箇所数		
	現況	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
実施内容	-	工事中	工事中	工事中		7箇所 8箇所		
			評価		評価		評価	
			-					
予算/決算		3,678,300,000 (新第1庁舎整備にかかる費用)	330,862,280 (新第1庁舎整備にかかる費用)	6,927,400,000 (新第1庁舎整備にかかる費用)				
成果		令和2年度の開庁を目指して計画通りに工事を進めている。						
課題		※ 令和2年度の目標は「7箇所」となっているが、現在、「8箇所」に変更になっている。						
対応								

市川市障害者計画 進捗状況

基本目標	第6節 誰にとっても暮らしやすいまちづくりの推進 ～安心して暮らす～	施策の方向	2 居住環境の整備
事業名	14 住まいに関する検討会議の開催	所管課	福祉部 福祉政策課 市営住宅課
事業内容	地域における住まいの課題への対応を目的に、庁内の関係部署が連携して協議を行います。		

計画策定							
	平成28年度	平成30年度		平成31年度		令和2年度	
指標		開催回数		開催回数		開催回数	
	現況	目標	実績	目標	実績	目標	実績
実施内容	-	2回	1回	2回		2回	
			住まい部会会議開催				
			評価		評価		評価
		B					
予算/決算		-	-	-			
成果		・市川市地域包括ケアシステム推進委員会ワーキンググループ住まい部会会議を開催し、関係者で課題について共通認識を持つことが出来た。					
課題		・障害者、高齢者等の住宅確保要配慮者からの問合せについて、担当各課(地域支えあい課、介護福祉課、障がい者支援課、生活支援課、市営住宅課等)が個別に対応しているため、担当課間で問合せ内容及び対応状況が共有されていない。					
対応		・担当各課間で情報共有できる仕組みを平成31年度に構築する。					

市川市障害者計画 進捗状況

基本目標	第6節 誰にとっても暮らしやすいまちづくりの推進 ～安心して暮らす～	施策の方向	3 災害対策・防犯
事業名	15 避難行動要支援者対策事業	所管課	福祉部 地域支えあい課・障がい者支援課
事業内容	災害の発生、又はそのおそれがある場合に自ら避難することが困難な方の円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、特に支援を要する「避難行動要支援者」を把握し、避難の支援等を実施するための名簿を作成します。また、制度の改正に伴い、「地域全体で助け合う『共助意識』」、「支援を受けるため自ら地域とつながりを持つ『自助意識』」の向上を推進し、「避難行動要支援者名簿」を活用したいと考える避難支援等関係者へ提供する体制整備をします。さらに、平時における地域のつながりを促進します。		

計画策定

	平成28年度	平成30年度		平成31年度		令和2年度			
指標		新制度施行後の名簿登録者数の増加率(対平成30年度比・障害分)		新制度施行後の名簿登録者数の増加率(対平成30年度比・障害分)		新制度施行後の名簿登録者数の増加率(対平成30年度比・障害分)			
	現況	目標	実績	目標	実績	目標	実績		
実施内容	-	新制度施行年度の名簿登録者数	3,319人	+3%		+5%			
			評価					評価	評価
			-						
予算/決算		3,853,040	3,007,535	261,000					
成果	災害対策基本法に基づき避難行動要支援者名簿の策定を進め、従来の災害時要援護者名簿からの切り替えを実施した。要件該当者宛てにDMを送付。地域への共有に同意された方の名簿を、民生委員と覚書を締結した自治(町)会に提供した。								
課題	名簿の切り替えに伴い、地域への共有に同意する方をいかに増やすか。								
対応	庁内窓口で要件該当者への名簿登録の周知徹底を図る。								

市川市障害者計画 進捗状況

基本目標	第7節 地域の理解・支援の促進 ～地域で支え合う～	施策の方向	1 理解促進
事業名	16 障害に関する理解啓発事業	所管課	福祉部 障がい者支援課
事業内容	障害に関する理解を目的とした行事を開催し、市民に対する意識啓発をはかります。		

		計画策定							
		平成28年度	平成30年度		平成31年度		令和2年度		
指標		開催回数 参加人数	開催回数 参加人数		開催回数 参加人数		開催回数 参加人数		
	現況	目標	実績	目標	実績	目標	実績		
実施内容	1回 250人	1回 300人	1回 450人	1回 300人		1回 300人			
			障害者週間のイベント「Iあいフェスタ」を実施						
			評価					評価	評価
			A						
予算/決算		300,000	219,604	325,000					
成果		市内ショッピングセンター内で2日間開催、1日目は福祉の店と福祉体験コーナーをスタンプラリー方式で実施、2日目は大学生によるアカペラ合唱、バンド演奏、ミュージカル上演などを実施し、多くの方が来場した。							
課題		会場はニッケコルトンプラザ内のコルトンホールであり、やや手狭ではあるが、反面、施設の特定上、買い物ついで等に立ち寄りの方も多い。会場の収容人数の面について、改善策がないかも含めて今後開催していく。							
対応		より多くの外部団体等の協力を得られるよう模索していく。							

市川市障害者計画 進捗状況

基本目標	第7節 地域の理解・支援の促進 ～地域で支え合う～	施策の方向	2 交流の機会・場づくり
事業名	17 福祉の店運営支援事業	所管課	福祉部 障がい者支援課 障がい者施設課
事業内容	障害者の社会参加と工賃向上を目的に、障害者施設等の障害者が製作する物品を販売する「福祉の店」の運営を支援します。		

計画策定							
	平成28年度	平成30年度		平成31年度		令和2年度	
指標		出店回数		出店回数		出店回数	
	現況	目標	実績	目標	実績	目標	実績
実施内容	215回	270回	289回	270回		270回	
			評価		評価		評価
			A				
予算/決算		—	—	—			
成果		市川市仮本庁舎内での販売スペースが2階入口前のため来客者数が増加、また「道の駅いちかわ」での常設販売も加わり、販売回数も増加している。					
課題		「道の駅いちかわ」での常設販売や市主催事業への出店等多様化している。各販売場所での注意事項、商品管理の徹底等。					
対応		各事業所、関係団体との連携を深める。また各種販売会の状況を把握する。					

市川市障害者計画 進捗状況

基本目標	第7節 地域の理解・支援の促進 ～地域で支え合う～	施策の方向	3 人材確保・育成
事業名	18 障害児者相談支援ガイドライン研修	所管課	福祉部 障がい者支援課
事業内容	自立支援協議会の相談支援部会を中心に、障害者(児)相談支援事業に従事する関係者の申し合わせ事項としてのガイドラインを作成・改訂し、それに沿った研修を実施することにより、相談支援の担い手の確保と育成をはかります。		

計画策定							
	平成28年度	平成30年度		平成31年度		令和2年度	
指標		平均受講者数		平均受講者数		平均受講者数	
	現況	目標	実績	目標	実績	目標	実績
実施内容	85人	85人	72.3人	85人		85人	
			評価		評価		評価
			B				
予算/決算		30,000	15,000	30,000			
成果	例年通り3日間開催し、1日目については日中に開催し、夜間開催時より欠席率が格段に低くなった。 2日目はガイドラインに沿った徹底解説を、3日目は障がい福祉と介護保険の制度と共に8050問題の事例を通したグループワークを行った。						
課題	夜間の時間帯における欠席率が高く、開催の時間帯を日中に移すなどの検討が必要。						
対応	自立支援協議会の相談支援部会において開催日時・場所や内容の検討を行い、できる限り多くの方に参加してもらえる研修にしていく。						

市川市障害者計画 進捗状況

基本目標	第7節 地域の理解・支援の促進 ～地域で支え合う～	施策の方向	4 ネットワーク形成
事業名	19 基幹相談支援センターによるネットワーク構築	所管課	福祉部 障がい者支援課
事業内容	地域の関係機関との連携を強化することを目的に、基幹相談支援センター職員が関連会議等へ参加します。		

		計画策定						
		平成28年度	平成30年度		平成31年度		令和2年度	
指標		基幹相談支援センター職員による関係会議への出席種類数・出席回数		基幹相談支援センター職員による関係会議への出席種類数・出席回数		基幹相談支援センター職員による関係会議への出席種類数・出席回数		
	現況	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
実施内容	27種類 128回	34種類 160回	34種類 166回	35種類 166回		35種類 171回		
			評価		評価		評価	
			A					
予算/決算		48,000,000	48,000,000	49,950,000				
成果		H29年度より「基幹型支援センター」から「基幹相談支援センター」となり、出席する関係会議への出席種類数及び出席回数が大幅に伸びた。						
課題		限られた人材で関係会議へ出席しないといけないことから、本来業務であるケース相談及び対応とのバランスの取り方が課題となっている。						
対応		市川市自立支援協議会内に設置された「基幹相談支援センター運営協議会」において、出席すべき関係会議の優先順位を付けるなどの検討を行っていく。						